

大阪さやま病院

住所	大阪狭山市岩室3-2 16-1	電話	072-365-0181
病床数	279床	病棟数	5病棟

人権センターニュース No. 90 より

オンブズマン活動報告

平成20年6月16日訪問

病院全体

増改築し、ベッド数を288床から279床に減らし、患者1人当たりの面積を広くした。前回の訪問時(平成17年11月)に検討をお願いしていた公衆電話の位置、診察場所の問題は改善されていた。隔離室にナースコールが設置され、病室ではベッド周りのカーテン、全員の分の鍵付ロッカーが設置された。OTプログラム作られ、退院に向けた情報提供が行われ、詰所を通らずに外出できる開放病棟が作られた。前回の訪問時より全体的にゆったりとした印象を受けた。

- (1) 人権委員会: 意見箱は病棟と外来ロビーにあり。看護師が回収。委員長は医師と看護師。開催1回/月。サービス向上委員会と同時開催。
- (2) 行動制限最小化委員会: 設置している。
- (3) 担当制: 担当看護師、担当PSWがいる。
- (4) 診察: 診察室にて行われる。
- (5) 服薬: 看護師が病室をまわり、手渡す。
- (6) 外出: 閉鎖病棟に入院している開放処遇患者は詰所で外出簿に部屋番号、ライター所持、名前、行き先を書く。開放病棟では詰所カウンターに座っている職員の前の用紙に行き先を書き、自分の氏名のカードを裏返して外出。
- (7) 金銭管理: 事務管理費3,500円/月。鍵付ロッカーは全員分ある。多くの患者は買物伝票、電話代伝票、コインランドリー伝票を使用。伝票は翌日に詰所から事務所に渡し処理する。
- (8) 食事の選択メニュー: 2回/週。
- (9) 入浴: 週に2回。
- (10) 面会: 病棟に面会室がある。平日は13:00~17:00。休祝日は10:00~17:00。
- (11) 携帯電話: 東館は病棟外で使用可。本館は検査機器や病状的なことから持込み不可。
- (12) 院内売店: ある。現金または伝票で購入。
- (13) 地域医療連携室: 病棟担当のPSW4名、デイケア担当4名。連携室は退院支援、社会資源探し、他科との連携、市民の理解促進事業、地域の各種団体が参加する年3回のイベント等を行う。

一本館

【病室】

4人部屋が中心で一部個室(4,200円/日)も有。ベッド周りのカーテンは薄い緑やピンク色、壁はクリーム色、ベッドは木目調で落ち着いた雰囲気だった。廊下側の窓はすりガラスで10cm程の幅で透明の部分がある。意識してみる職員には部屋の中は見えるが、適度に目隠しになっていた。

【デイルーム】

窓は広く、全体の雰囲気はゆったりとしていた。テーブル、テレビや自動販売機がある。テーブルや椅子に名前の書いたテープが貼ってあった。「医師週間予定表」「入院患者の権利に関する宣言」等が掲示。棚には退院にむけての情報が書かれたチラシやファイルがあった。

【電話】

デイルーム奥のコーナーに設置され、衝立、椅子があり、静かに利用できる環境だった。審査会、ひまわりなど必要な情報があった。

【トイレ】

出入口はスロープ。洋式トイレ、手すりがある。

【面会室】

テーブルごとに衝立で仕切られていた。1人で座っている患者もいたので、患者が1人になりたいときにも利用できるようであった。

【喫煙室】

午前6時～午後9時に利用できる。

【浴室】

浴槽は小さいが浴室全体は広い。カランが5つあり、1回5～6人で入るようなのでゆったり入れそうだった。職員によると、入浴時間は決めていないので患者には「ゆっくり入ればいい」と言っても、男性は15分位で出てくる。

【隔離室】(本館3階・4階)

詰所横の病室を改装して各病棟に4室ずつある。室内にはナースコール、モニターカメラ、集音マイクがある。職員はナースコールが鳴ると、詰所で受話器をとって返事をし、部屋に行き話をする。まれによく呼ぶ患者もいるが、その度に行き話すので、問題はおさまるとのこと。トイレは洋式で目隠しの壁がある。トイレトペーパーは自分で引張り出せる。水洗は室内からと室外からの切替えが可。便器の上に換気扇があり、部屋の中に臭いがたまらないようにしている。奥に職員用通路があり、下部50センチは壁で、その上は透明の窓で隔離室と仕切られていた。そこから外の空を見ることができた。床は木目調で少し弾力があり、落下の音や衝撃が少ないようだった。鉄の扉には縦長(1m30cm×15cmくらい)の窓が付いていた。前室には洗面台や鏡、食事用のワゴン(特注したとのこと)があった。

本館2階(男女開放)

退院が近い患者の病棟。女性患者から「洗濯物を男性に見られたくない」という声があり、洗濯機の使用曜日を男女に分けた。(病院:洗濯機は2台に増やし、男性用、女性用を用意しました。)

本館3階(女性閉鎖)

面会が多く、3組が使える面会室もいっぱいになることがある。

患者の声

本館3階「診察は静かに落ち着いて話せる」「入った時に、あなたは〇ヶ月で退院と言ってくれたので安心した」「1ヶ月後、自宅への退院の目処がたっていると聞いている」「早く帰りたい」「自分の預けているお金がいくら残っているか知らない。誰に聞いたらいいかわからない」「看護師の言葉づかいだが、友達みたいに話す人がいる。いい人も悪い人もいる」「週2回診察がある。看護師はいい方。何でもあっさり話しをすることができる」「院内の建物の周辺をぐるりと歩く。ここに来て食べられるようになった」「外泊はあります」「食事のボリュームはたっぷり」「煙草は人によって本数が決められていて、詰所で渡してもらって吸う」「食事はまあまあおいしい」「OTは楽しみである」「病棟でもOTプログラムがある」

本館4階「院外の外出はあまり希望しません」「ずっと入院している」「週に2回くらいは病棟の外に出ることができ、売店で買物をする」

—東館—

中庭に面した吹抜けがあり、広々したロビーにソファや大型テレビがあった。患者数名がソファに横になってくつろいでいた。

東館1階 認知症病棟

デイルームの窓から外の景色がよく見え、キッチン風のコーナーがあった。前回訪問時の認知症病棟は私物等がほとんどなかったが、今回は壁には絵が飾られ、間接照明等が使われていた。トイレが1ヶ所便で汚れていた。

東館2階 ストレスケア病棟

ベッドごとにカードで使えるテレビ、冷蔵庫があり、インターネット接続可。個室にクローゼットと一体のテーブルある。

検討事項

【紙おむつ入れの臭い】(本館4階)

トイレにある使用済みの紙おむつ入れの蓋がしっかりと閉まらず、そこから尿と便の強い臭いがした。臭いが漏れない蓋にする等、対策の検討をお願いしたい。(病院:機密性の高い容器に取替えます。また、廃棄の周期を短くする、消臭スプレーの活用等工夫します。)

【入浴の回数】

患者から「お風呂が週に2回なので、もう少し増やして欲しい」との声があった。訪問時には病院側から入浴回数を増やすことを検討中との説明があった。ぜひ実現するようお願いしたい。(病院:もとより東館1階は3回/週、東館2階・本館2階は日・祝日以外毎日でした。現在、本館3階・4階も3回/週としました。)

【詰所の職員を呼ぶ方法】

詰所扉が施錠されており、本館3階では用事のある患者が詰所の窓を叩いていた。また、患者から「(看護師に)用があるときは詰所の窓をたたいたりしている。入院当初は不便だったが慣れた」「呼ぼうとしても(詰所内の見えるところに)看護師がいない時がある」との声があった。詰所内に職員がいるときは施錠しないことや呼び鈴やインターホンを置くなどして、詰所と患者がいる病棟内との風通しをよくする方法について検討をお願いしたい。(病院:呼鈴を設置します。)

【退院の相談について】

複数の患者からは、退院時期を伝えてもらっているので安心するという声があった。一方で本館3階の患者から「『退院の時期は家族に話すので、本人には言わない』と聞いている」との声があった。退院には家族との相談が必要であることも考えられるが、「あなた(入院患者)と相談します」という姿勢を持ちながら患者と向き合っていただくことをお願いしたい。(病院:心掛けます。)

病院へのご質問

本館3階の患者から「PSW と話したことがない。誰が担当しているのかわからない」との声があった。ストレスケア病棟には担当 PSW の情報が掲示板に貼られていましたが、本館にも同じような掲示はありましたでしょうか。(病院:全ての棟に PSW の情報を掲示しています。)

H20 大阪府精神保健福祉関係資料より

216名の入院者のうち統合失調症群が87名(40%)、気分障害が50名(23%)、認知症など症状性を含む器質性精神障害が39名(18%)。入院形態は任意入院116名(54%)、医療保護入院100名(46%)。在院期間は1年未満が120名(56%)、1年以上5年未満が54名(25%)、5年以上10年未満が24名(11%)、10年以上20年未満が12名(6%)、20年以上が6名(3%)。(H20.6.30時点)